

KP-MU1P-SET-HQ  
モニタリングユニット  
住宅向けPV用セット

Hanwha Q CELLS Japan

品番 9700363-1 A

**簡易施工マニュアル**  
**初期設定編**



## 施工・設定の流れについて

施工・設定の流れは、下記の通りです。

### ① 計測ユニットの設置・配線

- システム構成が余剰買取方式の場合、「簡易施工マニュアル（余剰買取方式）設置・配線編」をお読みください。
- システム構成が全量買取方式の場合、「簡易施工マニュアル（全量買取方式）設置・配線編」をお読みください。



### ② 初期設定

- 本書に従って、初期設定の作業を行ってください。



### ③ カラー表示ユニットの設置

- 「カラー表示ユニット設置マニュアル」をお読みください。

本書は上記「② 初期設定」について説明をしています。

①、③の作業については、上記に記載されているマニュアルに従って、作業を行ってください。

本書では下記の2つのシステム構成についての初期設定の仕方について説明しています。

- 余剰買取方式 主幹計測「あり」外部発電「なし」分岐計測「なし」の場合
  - 全量買取方式 主幹計測「なし」外部発電「なし」分岐計測「なし」の場合
- それ以外のシステム構成については「施工（初期設定編）/ 保守マニュアル」をお読みください。

## 本書について

■ 本書では以下のように記載しています。

- 「ソーラーパワーコンディショナ」→「パワーコンディショナ」
  - パワーコンディショナ「KP30K2-HQ」、「KP40K2-HQ」、「KP55K2-HQ」→「KP□K2-HQ」
  - パワーコンディショナ「KP44M-J4」、「KP55M-J4」、「KP44M-J4-HQ」、「KP55M-J4-HQ」→「KP□M-J4-HQ」
  - パワーコンディショナ「KP48R-J3」、「KP59R-J4」、「KP48R-J3-HQ」、「KP59R-J4-HQ」→「KP□R-HQ」
  - 「太陽光発電用漏電ブレーカ」→「太陽光発電用ブレーカ」
- 注：末尾に「-A」のつく形式を含みます。

- カラー表示ユニットの同梱品については、カラー表示ユニット設置マニュアルをお読みください。

## 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、安全な設置作業および安全にご使用いただくための重大な内容を記載しています。必ずお守りください。  
正しい取り扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至るおそれがあります。  
詳細は施工（初期設定編）/ 保守マニュアルをお読みください。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>計測ユニットおよびカラー表示ユニットに発火物を近づけたり、可燃性ガスを含むスプレーを吹き付けしないでください。</li> <li>カラー表示ユニットを乳幼児の手の届く場所やペットが近づける場所、不安定な場所には置かないでください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>計測ユニットおよびカラー表示ユニットを分解・改造しないでください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>計測ユニットおよびカラー表示ユニットにぬれた手で触れないでください。</li> </ul>

## 1. 初期設定前の準備

### 1 初期設定前の確認

初期設定を始める前に、以下の項目を確認してください。

- 計測ユニットの設置、配線が完了している  
計測ユニットの設置、配線については、簡易施工マニュアル（余剰買取方式）または簡易施工マニュアル（全量買取方式）をお読みください。
- 接続しているパワーコンディショナの施工が完了している  
パワーコンディショナの施工については、パワーコンディショナの施工マニュアルをお読みください。
- パワーコンディショナが起動できる日射量がある  
初期設定でパワーコンディショナと通信を行うため、パワーコンディショナが起動できる日射量があるとき（早朝・夕方を除く、照度が安定している状態）に初期設定を行ってください。

施工チェックリストでシステム構成を確認してください。

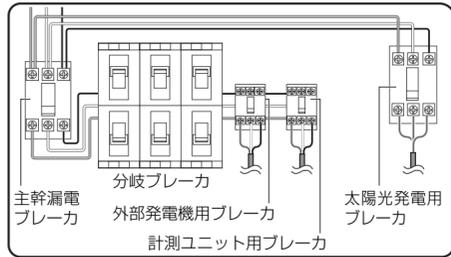
### 2 システムを起動する

システムを起動する前に、以下の状態を確認してください。

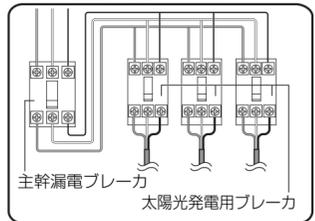
- 接続箱のすべての開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）がオフになっているか\*
- 太陽光発電用ブレーカがオフになっているか\*
- パワーコンディショナの運転スイッチがオフになっているか\*
- 計測ユニット用ブレーカがオフになっているか

\* パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナで確認、操作を行ってください。

分電盤（余剰買取方式）の例



集電箱（全量買取方式）の例



- 計測ユニット用ブレーカは、分電盤に設置されています

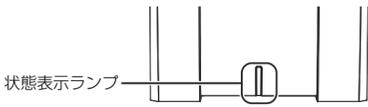
### 1 接続箱のすべての開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）をオンにする

- 表示部に「E i-G」が表示され、パワーコンディショナが起動します。
- パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナで確認、操作を行ってください。

### 2 計測ユニット用ブレーカをオンにする

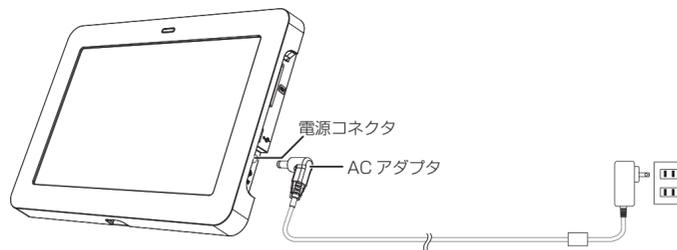
### 3 計測ユニットの起動を確認する

- 起動すると状態表示ランプが緑色点滅します。



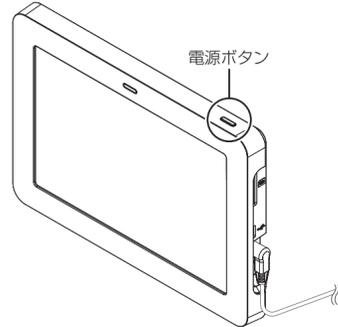
### 4 カラー表示ユニットを計測ユニットの近くに移動する

- カラー表示ユニットの電源コネクタに AC アダプタ（同梱）をつなぎ、コンセントに差し込んでください。



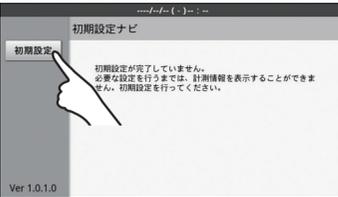
### 5 カラー表示ユニットの電源ボタンを押す

- カラー表示ユニットの電源が入り、起動画面が表示されます。その後、計測ユニットとの無線接続が完了すると、「初期設定ナビ」画面が表示されます。



### 6 「初期設定」を選ぶ

- カラー表示ユニットに「計測ユニットに接続できません。」と表示される場合は、下記を確認してください。
  - 計測ユニット用ブレーカがオンになっているか
  - 計測ユニットの起動は、計測ユニットの状態表示ランプの緑色点滅を確認してください。
  - カラー表示ユニットと計測ユニットの間に障害物がないか



### ■ 前の画面に戻るには

「戻る」を選ぶと、一つ前の画面に戻ります。

## 2. 初期設定ナビで設定する

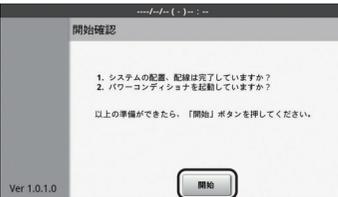
カラー表示ユニットを起動すると、「初期設定ナビ」メニュー画面が表示されます。

### 1 開始確認

初期設定を行う環境が整っていることを確認します。

#### 「開始確認」画面のメッセージを読み、準備ができていれば「開始」を選ぶ

- パワーコンディショナの起動は、表示部の「E i-G」表示を確認してください。(KP□R-HQ では、異常ランプの点滅でも起動を確認できます)



### 2 種別設定

買取モード（余剰買取 / 全量買取）や主幹計測の有無などのシステム構成を設定します。

- 施工チェックリストでシステム構成を確認してください。
- 初期設定が完了すると、買取モード（余剰買取 / 全量買取）は後から設定を変更できません。

#### 1 「買取モード」のドロップダウンリストボックスで「余剰買取」または「全量買取」を選ぶ



#### 2 (手順1で「全量買取」を選んだ場合のみ) 「主幹」のドロップダウンリストボックスで「なし」を選ぶ

- 主幹用電流センサを設置している場合は、施工（初期設定編）/ 保守マニュアルをお読みになり、初期設定を行ってください。
- 手順1で「余剰買取」を選んだ場合は、「あり」固定となります。手順3に進んでください。



### 3 「外部発電」のドロップダウンリストボックスで「なし」を選ぶ

- 手順1で「全量買取」、手順2で「なし」を選んだ場合は、「なし」固定となります。手順4に進んでください。
- 外部発電機用電流センサを設置している場合は、施工（初期設定編）/ 保守マニュアルをお読みになり、初期設定を行ってください。



### 4 「▼」、「▲」で計測ユニットに接続しているパワーコンディショナの台数を選ぶ

- 1 (台) ~ 6 (台) の範囲で選んでください。
- テキストボックスに数字を入力して設定することもできます。文字の入力方法については、施工（初期設定編）/ 保守マニュアルをお読みください。



テキストボックス

### 5 「▼」、「▲」で分岐計測用電流センサの数を「0」と入力する

- テキストボックスに数字を入力して設定することもできます。文字の入力方法については、施工（初期設定編）/ 保守マニュアルをお読みください。
- 分岐計測用電流センサを設置している場合は、施工（初期設定編）/ 保守マニュアルをお読みになり、初期設定を行ってください。



テキストボックス

### 6 「決定」を選ぶ



テキストボックス

### 3 日時設定

システムの日時を設定します。

日時設定は正しく設定してください。実績データ、履歴データに影響を与えることがあります。

#### 1 「年」、「月」、「日」、「時」、「分」のドロップダウンリストボックスで現在の日時を選ぶ

- 「年」は2015から2037まで設定できます。
- 「時」は0から23まで設定できます。

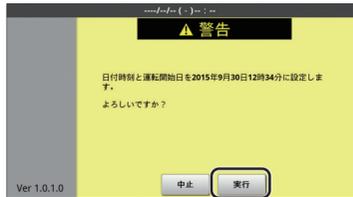


#### 2 「決定」を選ぶ



#### 3 設定内容を確認し、「実行」を選ぶ

- 設定をやり直す場合は、「中止」を選んで、手順1からもう一度設定してください。
- 日時更新画面が表示され、日時設定が完了すると、自動的に「パワーコンディショナ設定」画面が表示されます。30秒以上経過しても日時が設定されない場合は、「更新」を選んでください。
- 時計の秒は、日時の設定が完了した時点で「00秒」から始まりま。

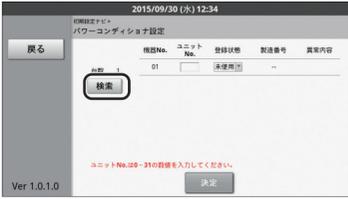


## 4 パワーコンディショナ設定

使用するパワーコンディショナを登録します。(最大6台まで)

### 1 「検索」を選ぶ

- 計測ユニットが、接続されているパワーコンディショナを自動で検索します。検索中は、画面中央に「LOADING」が表示されます。

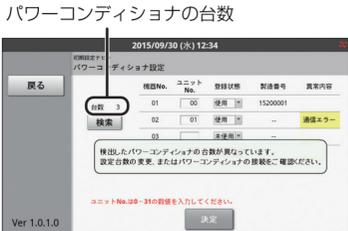


### 2 下記の内容を確認し、「決定」を選ぶ

- 各パワーコンディショナのユニット No. が表示され、登録状態が「使用」になっている。
- 計測ユニットに接続されているパワーコンディショナの製造番号が、製造番号欄に表示されている。



- 異常内容欄に「通信エラー」と表示され、背景が黄色になっているパワーコンディショナは、ユニット No. が重複している可能性があります。各パワーコンディショナのユニット No. 設定を確認した後、手順 1 からもう一度設定してください。パワーコンディショナのユニット No. 設定については、パワーコンディショナの施工マニュアルをお読みください。
- 「検出したパワーコンディショナの台数が異なります。」と表示される場合は、下記を確認した後、手順 1 からもう一度設定してください。
  - パワーコンディショナの台数の設定が正しいか
  - 台数が間違っている場合は、「種別設定」(⇒ 表面)に戻り、正しい台数を入力してください。
  - 計測ユニットの配線が正しいか (⇒ 施工マニュアル (設置・配線編)「計測ユニットの設置 / 配線」)
  - パワーコンディショナの配線・設定が正しいか (⇒ 施工マニュアル (設置・配線編))
  - パワーコンディショナが起動しているか (⇒ 表面)



## 5 系統状態確認

電圧検知用ケーブルの配線に誤りがないことを確認します。

### 1 「系統電圧の状態」が「正常」になっていることを確認する

- 「過電圧」または「不足電圧」と表示される場合は、電圧検知用ケーブルの配線を確認してください。(⇒ 簡易施工マニュアル (余剰買取方式) 設置・配線編または簡易施工マニュアル (全量買取方式) 設置・配線編「計測ユニットの設置 / 配線」)



### 2 「決定」を選ぶ



## 6 主幹電流センサ (余剰買取のときのみ)

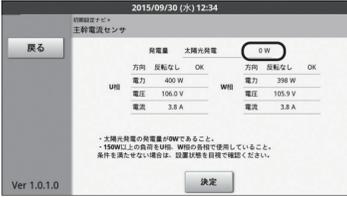
電力の計測状態により、主幹用電流センサの設置方向を確認します。

### ■ 準備

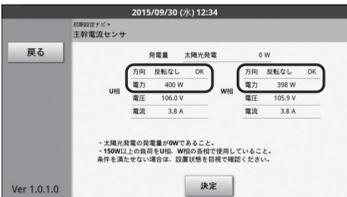
- 主幹用電流センサの方向の確認を開始する前に U 相側、W 相側のコンセントにそれぞれ 150W 以上の電化製品 (掃除機、ドライヤーなど) を接続し、運転させてください。150W 以上の消費電力の機器を用意できていない場合は、この画面で方向確認ができませんので主幹用電流センサの設置状態を自視で確認し、「決定」を選んでください。警告画面が表示されるので「実行」を選んだ後、「初期設定確認」に進んでください。

### 1 「太陽光発電」が「OW」になっていることを確認する

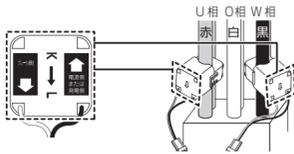
- 「OW」になっていない場合は、パワーコンディショナの運転スイッチをオフにして運転を停止してください。



### 2 「U相」、「W相」それぞれの「方向」、「電力」の項目を確認する



- 「方向」: 「反転なし OK」と表示されていることを確認してください。「反転なし NG」と表示される場合は、主幹用電流センサの設置方向が間違っています。設置方向を確認してください。設置方向を確認してください。



- 「電力」: 黒字で 150W 以上の値が表示されていることを確認してください。赤字で 150W 未満の値が表示されている場合は、U 相側、W 相側のコンセントに電化製品を追加してください。

### 3 「決定」を選ぶ

- 警告画面が表示される場合は、「中止」を選んで、手順 2 の表示内容を再度確認してください。



## 7 初期設定確認

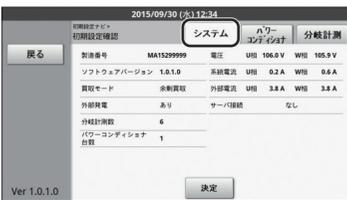
初期設定の設定内容を確認します。

### 1 日時が正しく設定されていることを確認する

- 初期設定で設定された日時が運転開始日として登録されます。ここで日時を間違えて登録すると、日時設定と運転開始日の変更が必要です。(⇒ 施工 (初期設定編) / 保守マニュアル)



### 2 「システム」を選び、初期設定内容を確認する



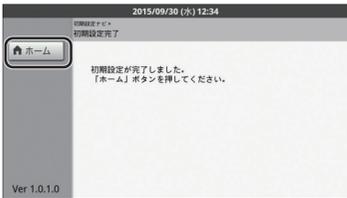
### 3 「パワーコンディショナ」を選び、初期設定内容を確認し、「決定」を選ぶ

- 「詳細」を選ぶと、各パワーコンディショナの詳細情報を確認できます。



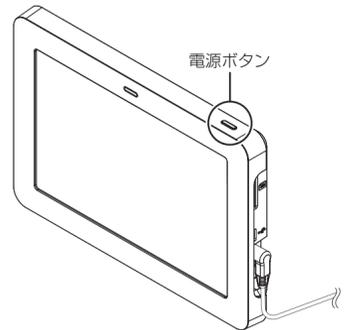
### 4 「ホーム」を選ぶ

- ホーム画面が表示されます。



### 5 カラー表示ユニットの電源ボタンを約 1 秒押す

- 「電源を切る」画面が表示されます。



### 6 「OK」を選んで、電源を切る



### 7 AC アダプタをコンセントから抜き、カラー表示ユニットを設置する場所に移動する

以上で初期設定は完了です。「パワーコンディショナの動作確認」に進んでください。

## 8 パワーコンディショナの動作確認

接続しているパワーコンディショナが KP □ M-J4-HQ または KP □ R-HQ の場合、計測ユニットからパワーコンディショナの運転停止 / 再開の切り替えができることを確認します。

- 太陽電池が発電中に確認を行ってください。
- 計測ユニット用ブレーカ、接続箱のすべての開閉器 (またはパワーコンディショナの入力開閉器)、太陽光発電用ブレーカおよびパワーコンディショナの運転スイッチがオフの状態を確認を始めてください。※
- 停電用コンセントに電気製品を接続せずに動作確認を行ってください。
- パワーコンディショナを複数台設置している場合は、全台一括操作となります。個別に操作することはできません。

### 1 接続箱のすべての開閉器 (またはパワーコンディショナの入力開閉器) をすべてオンにする※

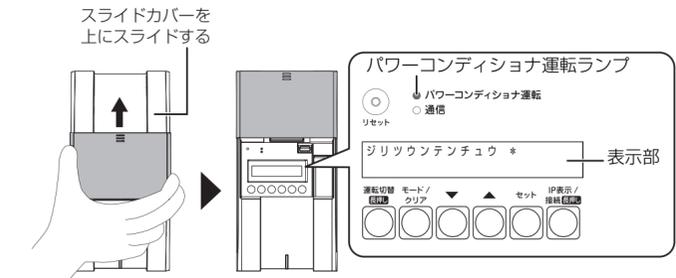
- パワーコンディショナの表示部に「E I-O」が表示されることを確認してください。(KP □ R-HQ では、異常ランプの点滅でも起動を確認できます)

### 2 パワーコンディショナの運転スイッチをオンにする

- パワーコンディショナが自立運転を開始します。

※ パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナで確認、操作を行ってください。

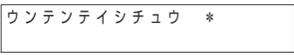
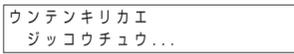
### 3 計測ユニットのスライドカバーを開ける



- 計測ユニットの表示部に「ジリツウンテンチュウ」が表示され、パワーコンディショナ運転ランプが橙色点灯します。
- 表示部が消光している場合は、いずれかのボタンを押して表示部を点灯させてください。

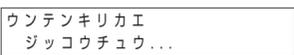
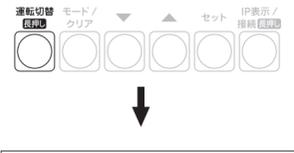
### 4 計測ユニットの運転切替ボタンを 2 秒以上押し続けて、パワーコンディショナの運転を停止する

- 計測ユニットの表示部に「ウンテンキリカエ ジッコウチュウ...」、「ウンテンテイシチュウ」と表示され、パワーコンディショナの運転が停止することを確認してください。(パワーコンディショナ運転ランプが赤色点灯します)



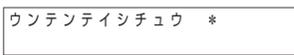
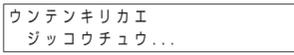
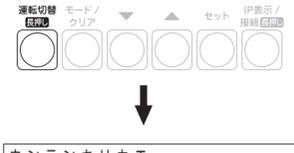
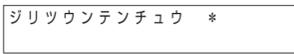
### 5 計測ユニットの運転切替ボタンを 2 秒以上押し続けて、パワーコンディショナの運転を開始する

- パワーコンディショナが自立運転を開始し、計測ユニットの表示部に「ウンテンキリカエ ジッコウチュウ...」、「ジリツウンテンチュウ」が表示されることを確認してください。



### 6 計測ユニットの運転切替ボタンを 2 秒以上押し続けて、パワーコンディショナの運転を停止する

- 計測ユニットの表示部に「ウンテンキリカエ ジッコウチュウ...」、「ウンテンテイシチュウ」と表示され、パワーコンディショナの運転が停止します。(パワーコンディショナ運転ランプが赤色点灯します)



### 7 パワーコンディショナ本体の運転スイッチをオフにする

- パワーコンディショナ本体の運転スイッチがオフになっているときは、計測ユニットから運転操作はできません。

### 8 計測ユニット用ブレーカをオンにする

カラー表示ユニット設置マニュアルに記載している「カラー表示ユニットの設置」の作業を行ってください。